



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2014-2015)

- 国際会長(IP) Isaac Palathinkal アイザック ハラシカル (インド)  
"Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」  
スローガン "Do it Now" 「今すぐやろう！」
- アジア会長(AP) Yaz Okano 岡野 泰和 (大阪土佐掘)  
"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」  
スローガン "One Asia One world" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)  
"To walk together,echoing each other" 「響きあい、ともに歩む」  
—こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆー—
- 六甲部部长(DG) 多胡 葉子(宝塚)  
『わたしとあなたのY'sダムをYMCAと共に ユース・交流・地域』
- 西宮クラブ会長(CP) 山口 吉郎  
『もっと楽しく、そしてワイズダムらしく！』  
"Let's enjoy Y's activities"

★ 2015年6月 西日本区強調ポイント “評価と計画”  
松本 武彦理事(大阪西クラブ)  
「今年度の活動目標がどこまで出来たか振り返り、達成と未達成の原因を探り、この振り返りの精華を次年度の活動に活かそう」

**我らのモットー**：強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う  
To acknowledge the duty that accompanies every right !

2015年6月第806号  
《68期10号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ  
・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員  
会長 山口 吉郎  
副会長 山本 常雄  
直前会長 堤 一幸  
書記 廣瀬 一雄  
書記 西山 茂夫  
会計 足立 康幸  
会計 濱崎 進一  
監事 岩田 健司  
担当主事 宗行 孝之介  
部地域奉仕環境主査 堤 一幸

今月の聖句 「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」

フィリピの信徒への手紙 第4章6節 宗行孝之介選

### 2015年6月第一例会ご案内

日時 6月5日(金) 19時~21時  
会場: 西宮YMCA 保育園3階  
ドライバー: 山本ワイズ、山口(政)ワイズ

#### — 評価・計画 —

- 開会点鐘 山口会長
1. ワイズソング 一同
  2. 今月の聖句 藤原ワイズ
  3. ゲスト・ビジター紹介 山口会長
  4. 食前感謝 小野ワイズ
  5. 会食
  6. タイワークキャンプ報告 井内リーダー
  7. 評価、年度報告 山口会長
  8. 計画、新年度方針 浅野次期会長
  9. お誕生日お祝い
  10. ワイズ・YMCAニュース
  11. 閉会点鐘 山口会長

#### 【4月例出席状況】

第1例会(5/15 金)	第2例会(5/22 金)
メン 19名(内 MU2名)	メン 14名
メネット・コメント 4名	メネット・コメント 0名
ゲスト・ビジター 12名	ゲスト・ビジター 0名
合計 28名	合計 14名
出席率 91.3%	
在籍数 35名	(累計出席率 93.7%)

#### 【お誕生日】

山口洋子メネット(6/13)、岡田春美メネット(6/17)  
浅野恭子メネット(6/21)

#### 【ファンド・BF 累計】5月

ニコニコファンド ¥3340 累計 ¥32707  
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥5100 累計 ¥25800  
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥3400 累計 ¥17200  
BF使用済み切手 (前期 874 ㊦) 今期 18 ㊦

## 【会長メッセージ】

会長 山口 吉郎

この会長メッセージを毎月末の原稿締切を守れずに四苦八苦してひねりだしていましたが、やっと最終号となりました。少し寂しいです。

昨年の7月もしくは準備を始めた4月頃は、この1年間会長として持つのかなあと心配していましたが、あと1カ月を残すのみとなった今は、あつと言う間の時間だったと感じています。会長を務めさせていただいたおかげで、いろいろな経験ができ大いに勉強をさせていただきました。そういう意味では、もっと若いうちに体験すれば人生にもっと生かせる役目とも言えます。もっと早くにワイズに入ったらなあと思ったりもします。事務的な経験の一つ、大量のブリテンとメールと郵便物の嵐には閉口しました。メールが無かった頃はさぞ大変だったと想像します。

皆様のご協力のおかげで、例会出席率も非常に高く維持でき、充実した例会が持てました。カーニバル・チャリティラン・クリスマス等の各イベントも盛大に終わることができました。また東北・宮古支援では、現地訪問視察、濱塚総主事をお迎えしての講演会、東西日本区全クラブへのDVDによる呼びかけ、宮古物品販売とかなり力を入れて取り組みました。そた他にもじゃがいも等々多くのイベントと成果がありますが、これら全ては、西宮クラブの一人一人が積極的に参画した結果によるものです。心から感謝いたします。

7月はキックオフ例会です。ベテランの浅野新会長のもと、全員で支えて新年度を楽しく頑張りましょう。この1年間、皆様のご協力ありがとうございました。

## 【第一例会報告】

ドライバー 山口(吉)ワイズ、宗行ワイズ

5月15日(金)午後7時から西宮YMCA保育園3Fで第一例会を開催しました。今回は山口会長の肝いりで、日本では本当に珍しいチターの演奏を日本チター楽友会会長の恵藤美津子さんを招いてお話とともに拝聴しました。事前のリクルートも万端で、ゲストも芦屋クラブのみなさん、神戸クラブのみなさん、松浦秀之さん、草地とし子さんを合わせると30名を越える大所帯となり、保育園のホールも教室スタイルでないと座れないほどの盛況となりました。もう説明の要らない(年長者にとっては)第三の男のテーマからはじまり、楽しいトークも交えながらの9曲はあつという間でした。そもそもチターの音は聞いてみると「あああれか」という

人は多いでしょうが、実際に楽器を見て、その演奏をライブで見た人はそんなに多くは無いと思います。ピアノの原型という話を実際演奏していただきながら奏法をみて初めて得心しました。あとの質疑応答もみなさんそれぞれ結構的を得た質問で、みなさんの関心の高さが伺われました。いずれにせよ、初夏の夜、YMCAに爽やかな風が吹き抜けたような例会でした。山口会長ありがとうございました。

## 【ワイズニュース】

会長 山口吉郎

- 5/8(金) 神戸YMCA創立記念礼拝 18:30-  
神戸教会 出席:山本、山口政之
- 5/9(土) 六甲部次期準備役員会  
神戸市勤労会館 浅野次期会長、山口次期主査  
・ユースコンホケーションに多数派遣を:費用六甲部負担  
・YYフォーラムと合わせ新春合同例会(2月)  
・EMC シンポジウム
- 5/10 三田商工会震災復興フェスティバル  
有馬富士公園 宮古物品売上 26,640円  
馬場・季公子、長井、岩田、石井、廣瀬、山口吉
- 5/15(金) 第一例会 西宮 YMCA  
日本チター楽友会会長 恵藤美津子さん講演演奏  
芦屋クラブ:福原、上野、柏原、桑野、五十嵐夫妻  
篠坂 神戸ポートクラブ:大野智、丹羽 ム・ネット  
ゲスト:草地さま、松浦さま 全37名
- 5/23(土) 岡山クラブ50周年記念例会  
13-17時岡山国際交流センター  
出席:小野、山本、山口政之・ネット
- 第二例会 西宮 YMCA  
・浅野次期会長より次年度年間行事予定の説明  
8月は六甲 YMCAにて神戸・芦屋クラブと合同例会、じゃがいもFは10/16より。  
・足立会計より 14-15 通常・特別会計決算見込、  
大会等参加補助金、15-16 予算案の説明  
◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
- 6/1(月) 水野雄二前総主事感謝会  
19-21時ザ・テラス(ANA クラウンプラザ4階)  
参加予定:浅野、岡田、長井、丸山、山口政、山口吉、山本、濱、小野、廣瀬、石井各メン
- 6/5 第一例会
- 6/5 チャリティーラン第一回実行委員会  
神戸 YMCA ファミリーウエルネスセンター  
石井メン出席予定
- 6/12(金)-14(日) 西日本区大会  
・宮古物品販売を実施予定:長井メン調整中

・6/14(日) 3DBC 懇親会 12:30~14:30  
広島12名 呉8名 近江八幡10名 西宮20名  
計50名参加予定  
11. 6/26 第二例会  
12. 7/31(金)-8/2(日) アジア地域大会  
山口政・洋子、廣瀬・敦子、山口吉妙・メネット  
参加予定

## 【YMCA ニュース】



宗行 孝之介 ワイズ

連休も過ぎ、いよいよ初夏で台風もやってきました。  
みなさま被害等にあわれませんでしたか？

さて、以前からご紹介させていただいている児童  
デイサービスもいよいよ活動が定着してまいりました。  
就学前のさまざまな発達上の課題をもっている  
お子様を1時間すこしお預かりしてさまざまな療育  
を行っています。YMCAの特徴はサポートプログラム  
で培ったノウハウといまひとつは指導員の属性の  
多様さです。20代のスタッフからなんと80歳?!を越  
える指導員まで、保育士、特別支援教育士、臨床心  
理士などさまざまな角度からアプローチできる体制  
で臨んでいます。まだまだ発達途上の小さな子ども  
たちですがそれだけに思わぬ「のびしろ」を発見したり  
することもよくあります。子どもの療育もさることな  
がら、保護者へのアプローチも欠かすことはできま  
せん。わが子が障がいをもったり、あるいは発達が  
どうも遅い、など言葉で書くことは簡単ですが、保護  
者にとっては本当に心が痛い話で、そのことに向き  
合うところまでなかなかできない方も居られますし、  
あるいはご家庭でどう対応したらよいのか悩んでい  
らっしゃる方も多々おられます。費用負担は受給者  
証をお持ちであれば少なくとも済むのがこのプログラ  
ムですが、反面小学校に上がってYMCAのサイン  
ポストクラスへ希望されても今度は国の制度にはの  
らないクラスなので全額負担ということになります。  
なんとかならんかと考えてしまうこともあります。そう  
は言いながらも今年で2年目、スタッフ同一層努  
力してゆきますのでご理解、ご支援よろしく願い  
いたします。

## 【リーダー会便り】

宮脇 知紘リーダー

キッズは三木ホースランドパークに行きました。グ  
ループのお友達と馬車にのりました。馬の歩く音を  
きいたりしました。また馬ににんじんもあげました。  
手を馬に舐められて驚いたり自分であげることが出  
来たことに喜びを感じる表情を見ることが出来まし  
た。子ども達は馬と触れ合うことができ、とても近く  
で馬を感じることが出来たのではないかと思います。

ジュニアも三木ホースランドパークへ馬と触れ合  
いに行きました。初めての体験に子どもたちは目を  
輝かせていました。今年度二回目の活動となり、他  
のお友達のことを考えながらグループ活動に取り組  
む姿も見られました。

シニアは社家郷山キャンプ場で1泊2日のキャン  
プを行いました。自分達でテントを建て、夕飯を作  
るという高学年らしいプログラムでした。グループの  
時間を多く取り、これからの活動でグループが一  
つになるきっかけになったのではないかと思います。

## 【西日本区だよりー11】

次期西日本区EMC事業主任  
小野 勅紘(西宮クラブ)



西日本区理事キャビネット決起集会

4月に第一回準備役員会があり、6月の西日本区  
大会と第二回準備役員会を迎える5月は、丁度緩  
急のエポックの端境期のような時期です。来年の同  
じ時期は纏めの時期で表彰申請などで、テンテコ舞  
いの多忙を極めているでしょう。今年是比较的ゆっ  
くり過ごせています。5月17日(日)は、そんな多忙  
の手をちょっと緩めて「決起集会」として、それぞ  
れの決意を新たにしようということになりました。実  
はそれは口実であって、その内実はいつもお世話にな  
りっぱなしの次期理事の遠藤夫妻がこの5月で目  
出度く「還暦」を迎えられるとのことで、我々に出来  
るせめてものお祝いの時を持つと、正野次期書記  
からの厳しい箝口令のもとに「サプライズ還暦祝い  
兼決起集会」と相なりました。梅田のSIDAX(カラオ  
ケ)に集合したキャビネット一向8名はしんみりと「決  
起集会」の時を迎えましたが、その瞬間場面は一転、  
「お祝い大カラオケ大会」に変化しておりました。遠  
藤ご夫妻には突然のサ  
プライズに「赤いちゃん  
ちゃんこ」を贈呈し、そのまま  
自宅まで帰還されたとか。  
道すがらすれ違った犬に  
噛まれませんでしたでしょ  
うか。このパワーをそのま





ま維持して西日本区大会から次期活動に雪崩れ込んでいきましょう。

です。(イベントに参加してお手伝いするというのも一考でしょうか) 最近3回も観て涙した映画「風に立つライオン」でも証明されている。

### はじめての福島学

そういうわけであまり記事のない今月は最近読んだ本の感想を上げておきます。福島県いわき市生まれで、東京大学大学院博士課程在籍中で、福島原発事故独立検証委員会メンバー、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター研究員などを務めておられる開沼博氏の著書「はじめての福島学」(イースト・プレス社刊)を読みました。震災4年目で「避難」「賠償」「除染」「原発」「放射線」「子どもたち」という6点セットのキーワードが定型化して、「無関心」から「忘却」に向かっているという。また、マスコミの思い込みだけの情報で、「人口流出の危険性」など誤ったイメージも独り歩きしている。ネットでは、食料など生産品の汚染、放射線の恐怖や離婚、障害児などネガティブで根拠のない情報だけが飛び交っているという。一番困るのは「福島を理解しているふり」や「寄り添っているふり」が一番迷惑だとのこと。かわいそうだという思いは「上から目線」で、むしろ問題を悪化させているという憐憫(れんびん・あわれみ)の感情。昨年の中西部会で淀川キリスト教病院理事長の柏木先生のお話では、「支援」は上から目線で「やってあげている」という恩着せがましいが、「寄り添い」は目線を同じくする「ラポール(橋渡し)」の愛があると聞いた。しかし、開沼氏によれば「寄り添っているふり」まで切り込んでおられる。その結果「滑った善意」が「的を射た善意」として罷り通っていると手厳しい。地元の人は望んでもいないのに、押し付けは有難た迷惑なのに、お構いなしという空白地帯が生じて、その結果問題は放置されてしまうとのこと。いわゆる自己満足。

では具体的に何をどうすればいいのかというと、次の三点がキーポイントだという。それはまず、①「現地の産品を買う」こと。(これは現地に行かなくても関西でも物産展などで可能)そして、②「現地に行く」こと。旅行でもボランティアでもいいからまず現地に行って、最後に出来れば、③「現地で働く」(一緒に汗をかく)ことだそう。やはり「現地・現物」がベスト。我が西宮クラブに目を戻してみると、4年前からの宮古支援で、まず①の現地の産品は、「宮古いきいきフェアネット」の商品を売っているし、また買いもしている。②の現地への訪問も年1回ではあるが継続している。かくなる上は③の「現地で働く」道が今後残されている。働くことは出来なくとも、一緒に現地の人と汗を流すことは可能。機会を作って何か「働く」場を作りたいもの

## 【3クラブ交換ブリテン】

\*今回は2名の方を掲載しています。

### 私の入会のきっかけ

近江八幡クラブ 瀬間恭子  
広島クラブの皆様、西宮クラブの皆様 こんにちは。何か書いてと言われたものの何を書けばいいのか悩んでいるうちに日が過ぎていきました。

さて、皆様もワイズに入会されたきっかけがありますよね。そこで、私のきっかけをお話することにします。私がYMCAと関わったのは高校生の頃、High School YMCA(Hi.Y)の活動を通してYMCAと関わっていました。その後、大学では学Yもなく結婚し、子供が出来るまではYMCAとは離れていました。次のきっかけは子供がYMCAのプログラムに参加させてもらっていたことです。子供たちもYMCAのプログラムリーダーとして4年間過ごしました。その子供たちが、いよいよ大学を卒業しYMCAとの関わりがなくなると思ったら、なんとなく寂しい気持ちになったのかは何故かわかりません。その頃、故山田真ワイズの奥さんの山田幸子ワイズにすすめられ、YMCAと関わっていられるのならとワイズに入会を決めました。今、例会をしているアンドリュース館は私にとって思い出の一杯つまった場所です。最近、遠出を控えているので、DBCの新しいワイズさんにはお目にかかることはありません。この私も70才を過ぎたので、あとの若い人たちに頑張ってもらうことにします。読んで下さってありがとうございます。稚拙な文でごめんなさい。



西宮クラブ 山本常雄

DBCの皆様こんにちは。私は近江八幡の昔を知りませんが、ヴォーリズ以降は彼の思いに満ち溢れた、心豊かな、民意・民度の高い素晴らしい方々が、大勢居られる街だと感心し、その街の人達と親しく接して頂けることに大変喜びを感じております。

又、広島は行かなくてはいけない街だと思いつつ生涯50余年訪れたことのない街でありましたが広島クラブとのご縁で約10年前から何度も訪問し、街

を歩きながら、川を越えるたびに、そこに多くの方々が、水を求め、ありったけの力を振り絞って、もがき苦しんで逝かれた姿を想像し心苦しく涙すること多々ありましたが、そこから立ち直って復興をなし、世界に向かって平和を発信し続けておられる正にフェニックスの様な広島の方々から途轍もなく大きな力を頂く者であります。

それに引替え西宮は取立てて何もありませんが、西宮のシンボルは「えべっさん」でしょうか。戎神社の総元締め西宮神社があります。きっぷの良さが商売繁盛の秘訣と言わんばかりに『商売繁盛で笹もってこい』と威勢の良い掛け声のもと熊手や熊笹が飛ぶように売れていきます。来年は1月例会の翌日の土曜日からですのでぜひ西宮例会に合流し宵宮をお楽しみ下さい。(キララ宿泊可能)キララといえばDBC 締結前後の準備会が懐かしく思い出されますね。

また、西宮は文教都市で多くの大学があります。中でも関西学院大学と神戸女学院はヴォーリズ設計の代表的建造物です。神戸女学院は昨年キャンパス全体が国の重要文化財の指定を受けました。【ヴォーリズ建築初指定】小生もヴォーリズ建築大好き人間の一人であります。元西宮クラブの会員清水彬久氏主宰のアメニティ2000協会創立15周年記念と併せて7月11日に神戸女学院にてキャンパス開放、講演(森孝一女学院院長)、調査報告会が開催されます。ヴォーリズ建築にご興味のある方はまたとない機会です。西宮の山本までご連絡下さればお取次ぎさせていただきます。3クラブの交流を今後とも楽しみにしています。6月14日西日本区大会でお逢い致しましょう。

## 【岡山クラブ50周年記念例会】

デジャブかも？ 小野 勅紘メン

5月23日(土)新大阪駅10時59分発の「さくら」に乗車、新神戸駅で乗車の山本メン、山口政紀・洋子夫妻と合流し、岡山駅に12時前に到着。駅前であつと腹拵えをして、歩いて5分の国際センターに到着した。先々で旗を持った出迎えは丁寧で好感が持てる。受付では福山クラブの桑田メンや広島クラブの面々もお手伝い。

実は、私は今から去ること10年前の4月に開催された岡山クラブ40周年記念例会を思い出します。時に西宮クラブの大会実行委員長であり、今は亡き故堀川吉彦元会長が「来る西宮クラブ60周年記念例会に300名の皆さんに来て戴くには、まず我々自身が相手の記念例会に参加しようではないか。皆で手分けして周辺クラブの周年例会に参加を励行しよう。」と提案されて、さっそく周辺クラブの周年

記念例会に参加してきた。(60周年記念例会は、2008年5月17日にDBCの仲間の広島クラブ・近江八幡クラブと合同で、琵琶湖において開催し、222名の皆さんに参加いただいた。その翌月堀川メンは天に召された。)

手初めにその年の4月に岡山クラブ40周年記念例会があるということで私は申込みをしました。ところが時期を同じくして父が天に召されて、出席出来なくなりました。岡山クラブの皆様も暖かく、10年先の50周年でお待ちするとのことでした。

今回私はこの約束を守るべく、数年前から出席を予定しておりました。予定通り今年5月その時を迎えました。何分にも現在の私は西日本区次期主任という大役にあり、毎週多忙な時期にありますが、この日は偶然予定がなく参加出来ました。岡山の地は久しぶりであるし、岡山クラブの行事も初めて。しかし何か前に見た、あるいは懐かしいような錯覚、これはいわゆる「デジャブ(過去記憶体験)」でしょうか。そうだ、きっと堀川メンも一諸に参加しているに違いないと思ったのです。

出だしから舞台は暗転して、「沢知恵」さんのライブコンサートの始まりです。感動的な歌の数々をピアノの弾き語りでお聴きし、時を忘れる位でした。撮影は禁じられていましたので、その時の映像はありません。以前東神戸教会でのコンサートに行けませんでしたので、私は初めてお聴きました。スピリチュアルソングの数々。途中「ふるさと」を全員で歌った時には涙が出そうでした。すぐ側には堀川メンがいたのかも知れません。

沢知恵さんは近年岡山に居を移つされ各地で精力的に演奏活動をされているようで、お二人のお子様ともご一緒とのこと。そういえば会場よく似たお二人を見かけたのできっとそうでしょう。

その後8階のホールで懇親会を持ち、時の過ぎるのを忘れて終了が惜しまれる中、6月の西日本区大会での再会を約束して会場を後にした。



歴代の西日本区理事さんが勢揃いする中で、米子クラブとのDBCである井出神戸クラブ会長より故佐々木宣夫初代西日本区理事(18年前・岡山クラブ)のメネットに感謝の花束が贈られた。